

人文科学研究所研究叢書

40.『続 剣と愛と 中世ロマニアの文学』

2006年11月10日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格5,300円（税別）

ISBN 4-8057-5329-3

まえがき	
「正義の戦い」とは？ —『頭韻詩アーサーの死』再考	不破 有理
印刷家ウィリアム・キャクストンの政治意識 —『イングランド年代記』刊行をめぐって	高木 眞佐子
エクスカリバーの変遷	小路 邦子
コノン・ド・ベチューヌの剣 —中世北フランスの地方貴族の生涯	久保田 勝一
サラディンを倒したイスラムの名剣マルグレ —フランス中世後期の物語におけるイスラム排撃のプログラム	小川 直之
ペルスヴァルに授けられた剣と刀鍛冶トレビュシェットの謎 —クレチアン・ド・トロワ作『聖杯の物語』再読	渡邊 浩司
ダニエルの剣 —シュトリッカーの描く十三世紀の騎士奉公	土肥 由美
時代としての剣 —ヒルデガルト・フォン・ビンゲンの幻視文学における歴史像	鈴木 桂子
竜退治 —北欧、イラン、インド、チベット、モンゴル	金光 仁三郎
聖ペトロの剣の行方 —『エルチェの聖母被昇天劇』の上演法をめぐって	仮屋 浩子
カルサダの聖ドミンゴの鎌について —サンティアゴ巡礼道沿いにある、聖人の名がつけられた一つの町の由来	オスカル・メンドサ
『ジローナ・ベアトゥス』のヘロデ図像に関する一考察	浅野 ひとみ
シッドの剣	福井 千春
研究活動記録	